

第6期江別市スポーツ推進計画(案)に対する市民意見募集結果と市の考え方

1 意見募集の結果

- (1)意見募集期間： 平成30年9月3日(月)から10月3日(水)まで
- (2)計画(案)配置場所： 本庁舎情報公開コーナー、情報図書館、各公民館、各体育館、青年センター、大麻出張所、水道庁舎証明交付窓口、市民会館、鉄南地区証明交付窓口、豊幌地区センター、総合社会福祉センター、スポーツ課 <計16か所>
- (3)提出いただいた意見
- 提出者数： 1人
意見数： 1人

2 第6期江別市スポーツ推進計画(案)に対する意見概要と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受け入れて案を修正するもの
B	案は修正しないが、今後の進め方等において積極的に参考とするもの
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
D	これまでも取り組んできているもの
E	案に取り入れなかったもの

(2)ご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	<p>江別で陸上といえば、市が誇る、いや道・国が誇る陸上十種競技における現在の日本記録保持者である右代啓祐選手がいます。右代選手は大学院の博士課程でスポーツ・システムを学ばれており、彼を生んだ自治体としては、やはり、スポーツに親しむうえでも、彼に講師として講義をしてもらう機会をつくるべきだと思います。</p> <p>西野幌には、道立野幌総合運動公園もありますし、彼の実技をまじえたお手本を見せてもらいながら子供たちがスポーツに親しむ場をつくる計画を市としてねるべきです。</p>	<p>計画案の中で、基本目標Ⅰ「生涯スポーツの推進」の基本方向2「各領域におけるスポーツ活動の充実との関係機関・団体との連携」、施策項目(3)「競技スポーツ」において、「合宿誘致事業等におけるトップアスリートとの交流機会の創出を図る。」ことを主な取組の一つとして掲げています。</p> <p>今後、計画に沿った取組を進めていく中で、いただいたご意見も参考にさせていただきながら、子どもたちがトップアスリートと交流できる機会の創出に努めてまいります。</p>	C